

緑の風 FAX版

NO. 24
2018年8月10日
JR東労組情宣部

600名を超える仲間が結集！！

乗務員の特殊性を堅持し

安全・健康・ゆとり・働きがいのある

乗務員勤務制度と職場を創り出す8.9集会

職場の声を基に議論を行い

粘り強くたたかう決意を固める！！



8月9日、赤羽会館において「乗務員の特殊性を堅持し、安全・健康・ゆとり・働きがいのある乗務員勤務制度と職場を創り出す8.9集会」を運車部会主催で開催し、600名を超える仲間が結集しました。

集会では、本部高橋業務部長から「この間の経過と今後のたたかう視点」が提起され、そのことを踏まえてパネルディスカッションを行いました。「支社企画部門社員」「当務主務」「指導員」「育児・介護」の視点から短時間行路の乗務における問題点を中心に、制度見直しについて議論しました。「支社の仕事は必ずしもデータ共有しているわけではなく、他の人の仕事をできるかが疑問」「当直業務と乗務の意識の切り替えが難しい」「指導は定期行路に乗る余裕はない」など職場の切実な声が出されました。参加者からも「安全確保のために睡眠時間の確保・環境の改善が必要」「乗務員と地上勤務者の思考は違う。混合すべきではない」「指導員の増員」「乗務員の特殊性から、行き先地手当は廃止すべきではない」などの発言が出され、本部として問題点を精査し、再度会社に求めていくことを全体で確認しました。

職場のたたかいを基礎に12地本が一体となり、要求実現に向けて奮闘していきましょう！！



乗務労働の特殊性を堅持し、安全確保と技術・技能継承を維持できる制度を仲間と共に創り出そう！！